



北海道中標津高等学校

学校だより 若 鷺

第 2 号
6. 5. 31
発 行

生徒指標

剛健進取 友愛求真 自主獨立 社會有為

標津郡中標津町西 6 条南 5 丁目 1 番地

TEL (0153) 72-2059 FAX (0153) 72-2492

URL <http://www.nakashibetsu.hokkaido-c.ed.jp>

1 学年宿泊研修

4 月 25 日 (木)、26 日 (金)、1 泊 2 日の日程で 1 学年宿泊研修を行いました。本校では、これまで 2 泊 3 日の日程で川湯温泉での宿泊研修を行ってききましたが、生徒の負担軽減を図るため、研修日程、内容を見直し、場所を阿寒湖温泉に移して実施しました。

1 日目は、ニュー阿寒ホテルへ移動し、生徒会による学校行事等の紹介、校歌歌唱練習、まりむ館でのレクリエーション、各クラスに分かれての研修を行いました。

2 日目は、光の森の散策、アイヌシアターイコロでの古式舞踊見学、校歌披露コンテストを行い、15 時 30 分に中標津高校に帰着しました。

この宿泊研修で学んだことを今後の学校生活に役立てて欲しいと思います。



新たな気づき

1 年 B 組 37 番 茂木 優実

新しく出会った仲間と行く宿泊研修は、最初少し不安があり、「積極的に行動できるかな」と思っていたのですが、その気持ちを余裕で超える新しい楽しさがありました。生徒会オリエンテーションでのゲームは、自分から相手に話しかけて、クラスのみんなとの交流を深めることができました。研修終了後、部屋に集まり、面白い話題で盛り上がり、たくさん話すことができました。自分が出会った頃と印象が全く違ってきて、「こんな一面があるんだな」と楽しく知ることができました。2 日目最後の合唱対決は、クラスが本気で歌うとこんなにも迫力のある歌声になるのだと感心しました。クラスごとで違う良さがある、その良さを取り入れていきたいと思いました。今回の宿泊研修は、みんなと話す機会が多かったです。改めて、話すことで、人を楽しませたり、自分も楽しんだりすることができることを学びました。私は、話すことが好きですが、自分から話すことが少なかったように感じていたので、新しい人と出会って自分から話したいと思うことが増えたと思います。また、今までより、自分の気持ちをはっきり言えるようになっていく気がします。そして、話すことをより好きになることができました。宿泊研修は、先生、親、バスの運転手さん、ホテルの方々などの協力を得て、初めて成立するものなので、感謝の気持ちを忘れずに今後の学校生活につなげていきたいです。

緩急のある 2 日間

1 年 F 組 2 番 安藤 玲音

4 月 25 日、宿泊研修のため中標津から阿寒に向かいました。中学校の宿泊学習と違って堅苦しく、厳しい行事なのか思っていて少しぎこちない様子でした。向かう道中のバスの中では、本来無かったバスレクをクラスメイトの白戸悠斗君が一人で企画、実行してくれました。企画内容は「あなたは誰でしょうクイズ」と「イントロクイズ」どちらも面白く、白熱しました。1 日目の生徒会オリエンテーションが終わる前までは、私が学園系の漫画を読んでいることもあって、「高校の生徒会は学校を牛耳っている」というイメージでしたけれども、そのようなことはなく、たった 2 時間のオリエンテーションのために阿寒まで来てくれて、道中も行事について話し合う、凄く学校のことに注力されている方々なのだと思いました。行事紹介のときはギャグも織り交ぜながら、わかりやすく紹介していただきました。出発前、宿泊研修の話が出てきた時から加藤先生が「バイキングはまず回れ」と、耳が壊れるほどおっしゃっていたので一周歩き、目星をつけてから取りに行きました。個人的には、ビーフシチューと牛すじ煮込み、コーヒーゼリーが美味しかったです。宿泊研修全体を通してとても楽しく、場に応じてメリハリ付けられおり、クラスの団結力も強くなったと思います。気が早いですが、来年の見学旅行がとても楽しみにになりました。